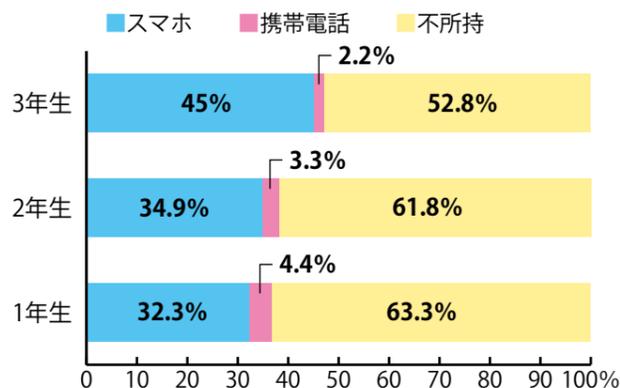


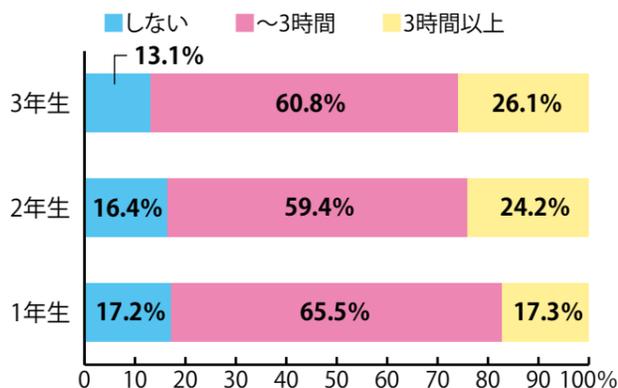
データで見る 中学生のスマホ事情

※平成29年度小松市ネットアンケート調査より

◆スマホ・携帯電話を持っていますか？



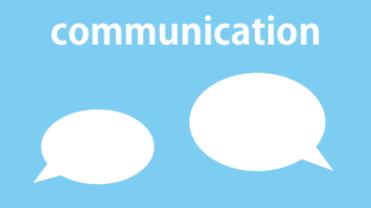
◆1日にどれくらいインターネットに接続していますか？
(タブレット等、ゲーム機、保護者所有のものでの接続を含む)



特集 #スマホ#中学生 自分たちにはできることは

スマートフォンなどの普及により、ますます身近になるインターネット社会とどう向き合っていくのか。中学生がネットトラブルやスマホとの付き合い方について考える取り組みを紹介します。

問い合わせ 未来の教育課 ☎24・8174



中学生サミットって？
自分たちを取り巻く課題について、中学生が主体となって意見を交わし、考えていくものです。毎年、市内10校から各4人、計40人の生徒が参加し、これまでネットトラブル防止に向けた映像制作や、注意を呼び掛けるネット3カ条の標語作成などに取り組んできました。



これからの子供たちにとって、情報活用能力はなくてはならないものです。そのツールの一つであるスマホとどう関わればいいのか、「中学生サミット」の活動を通して考えます。

ネット依存やトラブルも
スマホなどのインターネット機器は、便利で役立つ反面、子供たちを巻き込む様々な危険も潜んでいます。スマホのゲームやSNS(会員制交

情報化が急速に進展し、スマートフォン(以下スマホ)などのインターネット機器は、情報収集や買い物、家族・友人とのコミュニケーション手段など、今や私たちの生活に欠かせないものとなりました。
これらは子供たちにも浸透し、内閣府の調査によると、スマホの利用率は、小学生で約3割、中学生で約6割という結果が出ています。また、スマホやタブレットなど、何らかの機器でインターネットを利用している割合は、中学生で8割を超え、年々増加傾向にあります。

スマホ利用率は中学生で6割



小学校への呼び掛け

中学生が小学校を訪問し、ネットの危険性や使い方などについて授業を行う活動も昨年度から始まりました。今後も小学生にネット利用の心構えを伝えていく予定です。



スタンプを作成



ネットトラブル防止の啓発活動として、生徒たちが手書きのスタンプを作成。親しみやすいデザインでスマホの安心安全な利用を呼び掛けました。

小松から全国へスマホサミットに参加



▶関西スマホサミットにて活動報告と意見交換を行いました。

小松市中学生サミットのこれまでの実績が評価され、今年1月、大阪で開催された「関西スマホサミット」に中学生サミット実行委員会メンバーがゲストとして招待されました。また、6月には東京で開催された教育関係者向けセミナー「New Education Expo 2018」でも取り組み内容を発表し、生徒たちの活動が全国から注目されています。

サミット通信を発行

中学生サミットに参加していない生徒にもネット利用について考えてもらうため、手作りの「中学生サミット通信」を発行。市内10校が順番に作成し、各校での取り組み内容やネット利用における注意点などをまとめていきます。



▶平成30年度サミット通信第1号は御幸中学校が担当。市内の全中学校に配布されています。

手作りのCMで発信

ネット利用における主な問題点として挙げられる「時間」「危険」「人間関係」をテーマに、3つの映像を制作。「動画の見過ぎでテスト勉強ができない」など、実際に起こりうる事例を生徒たち自らが役者となって演じました。完成した映像は、中学校や小学校の啓発のため教材などとして活用されます。



生 徒たちの自主性を尊重し、サミットを見守っていますが、たとえ結論が出なくても問題意識を持って考える過程にこのサミットの意義を感じます。

保護者もこの機会に今の小中学生を取り巻くスマホの現状を知り、子供たちと話すきっかけを作ってもらえたらと思います。

小松市立学校PTA連合会
新世代委員会委員長 嶋多直子さん

Interview 保護者の声



みんなで考えてみよう スマホとの上手な付き合い方

中学生サミットは「自分たちでスマホの使い方を見直し、改善していきたい」という生徒たちの熱い思いから始まりました。トラブル防止のため、生徒たちの発案で行われたこれまでの活動を紹介します。

安 宅中学校生徒会では、普段からスマホの利用について問題意識を持っていました。最終的に市内全中学校を巻き込んでサミットを開催できたことは、様々な課題や考えを分かち合える大変良い経験となりました。当時サミットでは、場の空気を和ませる雰囲気作りを心掛け、活発な意見交換ができたことを覚えています。今の中学生には、これからも積極性を持って行動してほしいと思います。



第1回中学生サミット参加者
市立高校3年 中秀太郎さん

Interview 先輩の声

ポスターを制作

第3回中学生サミットでは、「ネット3か条」をより広く周知するため、啓発ポスターを作成しました。ポスターは中学校など、市内各所に掲示されています。



第1回は安宅中学校から

今から4年前、市では、人間関係づくりの一環として中学生のスマホの正しい使い方について考える取り組みを始めました。第1回の安宅中学校では、独自でネット利用に関するアンケートを実施。その結果、依存度が高まっていることが明らかになりました。そこで、アンケートを市内全小中学校に広げ、他校と連携して課題を共有することで、市全体でネットトラブルを防ぐ取り組みがスタートしました。



▶教育長との話し合いで自分たちの考えを伝えました。

小松市ネット3か条を制定

第2回中学生サミットでは、ネット利用における共通のルールを制定し、全ての中学校で共有しました。

時 間 「時間見て！もう今日終わるよ 大丈夫」
人間関係 「その言葉 相手の前でも言えますか？」
危険 「ネットでの この人良い人 それ本当？」
(平成28年度版)



ほかにも、「ネットを考える日」を作り、みんなで推進しています。
【平成28年度】毎月23日はネット使用を1時間以内にする
【平成29年度】テスト前3日間はネット使用を1時間以内にする



注目!

第4回中学生サミット

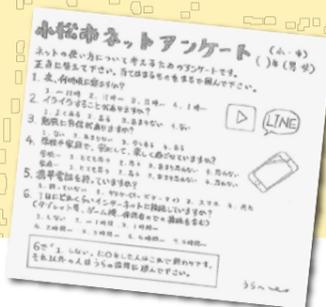
中学生がネットトラブル防止のための各校での取り組み内容などを発表します。どなたでも気軽にお越しください。

とき 11月23日(金・祝)13時～

ところ 第一地区コミュニティセンター

問い合わせ 未来の教育課 ☎24・8174

▶市内小学4～6年生と中学生、計6,000人にネット利用に関するアンケートを実施。今年の調査結果も報告します。



わが家のスマホルール【例】

- 夜9時以降は使用しない
- 公共の場所ではマナーを守る
- 家の中では家族のいる場所で使う
- 食事中は使用しない
- 掲示板やメールで悪口を書かない
- 個人情報を書き込まない など

皆さんの家庭に合ったルールを決めましょう



小松市イメージキャラクター「カブッキー」

スマホは未来に向けて更にできることが増え、私たちの生活の質を向上させてくれることでしょう。生徒たちは今、ますます進化する情報化社会とどう向き合うのか、自ら考え、様々な取り組みを進めています。

一方、ネットの危険から子供たちを守るのは保護者の責務です。「フィリタリングをかける」「アプリのダウンロードを制限する」など、保護者だからこそできることがたくさんあります。

子供も大人も自分事として捉え、スマホと中学生、友人同士、そして親と子の「スマートでちょうど良い関係」を築いていきましょう。



広がるスマホの可能性 リスクを知って賢く安全に使おう

インターネットやスマホの使い方について、家族で話し合ったことはありますか。子供たちはしっかりと自分の意見を持っています。大人も子供たちの実情を理解し、問題意識を共有することが重要です。

勉強もちゃんとやってるから、ちょっとだけ…お願い(>人<)

お父さん、お母さん、ひとこと言わせて～

お互いスマホばかり見てないで、もっと一緒に話したいな

知らない人とは連絡とってないから安心して

家族で相談して約束事を決めようね



人間関係をテーマに制作した動画の一場面。「顔が見えなくても相手への思いやりを忘れないでほしい」というメッセージが込められています。

Interview



アドバイザー／兵庫県立大学 環境人間学部人間形成コース 竹内和雄 准教授

子供と話し合い、納得できるルールづくりを

小松の中学生サミットに関わって4回目になりました。インターネットが普及する中、子供たち自身でその利用について考えることは、大変有効で素晴らしい活動だと思います。

子供たちが自分の問題としてしっかりと捉え、回を重ねるごとに段々と意見が深まっていると感じています。

ここ数年でネットやスマホの低年齢化が急速に進んでいます。親世代にとって特別であったネットは、子供たちにとっては日常生活に不可欠なものとなりつつあります。その認識の違いを埋めることも大事です。

ネット依存は、睡眠時間の減少、人間関係への影響、トラブルに巻き込まれるなどの危険性があります。そのことを大人も十分理解し、親が決め付けるのではなく、子供と話し合いながらルールを決めていくことが大切だと思います。



▲兵庫県立大学ソーシャルメディア研究会の学生8人もアシスタントとして参加。生徒たちをサポートしました。